

# 2020年度 事業報告書

2020年4月1日より2021年3月31日まで

## 第1 公益目的事業

定款第4条に掲げる事業は、次の計画により行った。

### 公1 がんに関する学術研究集会の定期開催、ならびに海外学術調査研究事業

#### ① 国際がんシンポジウム事業(第39回)

2020年6月30日～7月2日で予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため1年延期となった。支出としては国際電話に使用した事務通信費のみとなった。

#### ② 冬季がんセミナー事業(第35回)

2021年1月30日(土)、道内外から8名のがん研究者を招き、WEB 開催にて開催した。テーマは「いまがんを考える 2021—ニュー・ノーマル時代におけるがん診療を考える—」、代表世話人は札幌医科大学医学部泌尿器科学講座教授 舩森直哉氏で、WEB で254名の参加者を得て盛会理に終了した(大鵬薬品工業(株)との共催)。

#### ③ 市民がつくる春のがんセミナー事業

2021年3月27日(土)、北海道医師会館8階会議室にて会場とWEB とのハイブリット形式で開催した。北海道医療大学看護福祉学部教授の塚本容子先生、奈井江町の方波見医院の方波見康雄先生のお2人にご講演をいただき、会場での参加者24名、WEB 参加は96名で盛会裏に終了した(北海道医師会との共催)。

### 公2 がん予防・啓発、ならびにがん相談事業

#### ④ がん啓発・予防事業

中学・高校で出前授業を行う講師向けの冊子「もっと深くがんを知るために」を作製し、全国の普通科公立高校に配布した。また札幌市内の小中高へがん教育に関する支援事業としてインセンティブ・ファンドを行い、小中高各2校ずつからの応募があり支給した。また出前授業を行う講師謝金の支援事業も行い、応募のあった2校へ支給した。また、がん患者及び家族への相談を事務局にて行った。

#### ⑤ 広報関連事業

広報誌 The Way Forward を年2回作成し、関係機関へ配布した。その他、ホームページの更新などを行い、財団活動を広く周知した。

### 公3 医学・医療・福祉など関係の学会研究の助成事業

#### ⑥ 学会助成事業

本年度は助成事業は行わなかった。